鉄道分野の国際規格への審議体制

国土交通省

□ 鉄道技術に係る国際標準化にあたり、日本の技術に基づく国際規格提案を行う「攻め」の姿勢と、諸外国からの国際規格提案によって不利益を生じないための「守り」の姿勢の両面で対応し、海外展開を支援

【国内の国際規格審議体制】

IEC［国際電気標準会議］
鉄道電気設備とシステム専門委員会（TC 9）

電気	システム	車両
変電機器、電車線等	RAMS、自動運転旅客輸送ｼｽﾃﾑ、電磁両立性等	電気機器、列車用ﾃﾞｰﾀ伝送等

TC 9 議長　イタリア

ISO［国際標準化機構］
鉄道分野専門委員会（TC 269）等

車両	インフラ	O＆S	その他
空調装置、車輪材料等	レール、まくらぎ等	運転ｼﾐｭﾚｰﾀ等	鉄道ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ等

TC 269 議長　日本
（鉄道総研　田中氏）

国際規格案

日本産業標準調査会（JISC）※
※日本の代表窓口機関

国際規格案

鉄道総合技術研究所　鉄道国際規格センター

IEC / TC 9	ISO / TC 269		ISO / TC 17 / SC 15
電気・ｼｽﾃﾑ関係国内作業部会	車両関係国内作業部会	インフラ関係国内作業部会	ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ及びｻｰﾋﾞｽ関係国内作業部会	鉄道レール、締結装置、車輪関係国内作業部会 ※2023.6.14現在、設置されている国内作業部会はない。

鉄道関係の国際規格を一元的に対応

審議への人的協力・支援

国	鉄道総研	JR各社	民鉄	メーカ各社
鉄車工※	施設協会※	電技協※	その他関係機関	

※JIS原案作成団体